

作成 平成 29 年 3 月 29 日
改訂 平成 31 年 4 月 1 日
改訂 平成 31 年 6 月 1 日
改定 令和 2 年 4 月 28 日

コミュニティ設置・運営要領

一般社団法人情報サービス産業協会

1. 趣旨・目的

会員企業の経営者及び従業員が、ビジネス・技術の向上、情報の収集・共有等のため自主的な活動を行う場として、コミュニティを設置する。

コミュニティは、関係分野の専門家、会員外の関係者等の参加も得て、オープンな全員参加型の組織とする。

コミュニティ活動への参加を通じ、会員相互の連携強化、業界内外の有識者との交流推進、参加者各人の視野や人脈拡大に役立つことが期待される。

2. 設置

(1) コミュニティは会員企業等の設置提案により、正副会長会議の承認を得て、設置する。

(2) 設置を提案する場合には、申請者は設置の趣旨、活動内容等を記載した申請書（様式 1）を提出する。

3. 運営

(1) 構成メンバー

イ コミュニティメンバーは、原則公募とする。

ロ メンバーの中から幹事及び事務担当責任者を選出する。

ハ コミュニティには、関係分野の専門家、会員外の関係者をメンバーとして参加を求めることができる。

(2) 活動

イ コミュニティの活動は、基本的に年度単位とする。

ロ コミュニティの運営は、幹事及び事務担当責任者を中心に自主的に
行い、年 2 回（上期末及び年度末）活動状況等を報告する（様式 2）。

ハ 活動成果については、正副会長会議の審議を経た後、JISA の活動として広く公表することができる。

ニ JISA 事務局は、コミュニティの活動に対し、様式 1 記載の希望に応じて、会議室、ドキュメントサーバ等のリソースを提供する。

ホ コミュニティの運営に上記以外の経費が必要な場合には、その都度 JISA 事務局と協議する。

活動状況報告サンプル(年2回上期末及び年度末に提出)

※テキストファイルで作成すること。

(上期活動報告)

【コミュニティ名】平成30年度 アジャイルコミュニティ

【幹事】株式会社 JISA 鈴木 太朗

【趣旨】スピード経営に対応した開発方法論の普及とビジネスに活かすことを目指すコミュニティ

【活動内容】

(1)「アジャイルの現状把握」に関するアンケート回答関係者に対して、アジャイルコミュニティ主催のセミナーを実施した。

・講演:「なぜいま SI 崩壊なのか。なぜいまアジャイルなのか」ネットコマース(株)代表取締役 齋藤昌義

・講演:「アジャイルは通過点。その IT サービスは価値を生みますか?」(株)戦略スタッフサービス 代表取締役 戸田孝一郎・ワークショップ

(2)PMI 日本支部アジャイル PM 研究会のメンバーと意見交換会を実施した。

(3)JISA 会員の現状を把握するための「アジャイルの現状把握」に関するアンケート調査を昨年度に続いて実施すること及び調査項目について検討した。

(4)各社のアジャイルの取り組みについて情報共有を行った。

【今後の予定】

(1)コミュニティ内外でアジャイルに関する情報交換を実施する。

(2)JISA 会員を対象に「アジャイルの現状把握」に関するアンケートを昨年に続いて実施することで、経年変化を分析しビジネスに活かすための検討を行う。

(年度末活動報告)

【コミュニティ名】平成30年度 アジャイルコミュニティ

【幹事】株式会社 JISA 鈴木 太朗

【報告】

スピード経営に対応した開発方法論の普及とビジネスに活かすことを目指し、以下の活動を行った。

(1)「アジャイルの現状把握」に関するアンケート回答関係者に対して、アジャイルコミュニティ主催のセミナーを実施した。

・講演:「なぜいま SI 崩壊なのか。なぜいまアジャイルなのか」ネットコマース(株)代表取締役 齋藤昌義

・講演:「アジャイルは通過点。その IT サービスは価値を生みますか?」(株)

戦略スタッフサービス 代表取締役 戸田孝一郎・ワークショップ

(2)PMI 日本支部アジャイル PM 研究会のメンバーと意見交換会を実施した。

(3)JISA 会員を対象に「情報サービス産業におけるアジャイル開発に関するエンジニアへの調査」を実施(平成 29 年 12 月)、調査回答者を対象とした調査報告書作成、セミナーの企画をした。

【成果】(今年度成果があればレポートタイトルを、なければ「なし」と記入)

レポート名：レポートタイトルを記入
